



2019年12月5日

日本鉄道労働組合連合会

## 連合中央委員会において2020春闘方針が決定 全ての働く者の将来不安を払拭すべく 分配構造の転換につながりうる賃上げを！

連合は12月3日に第81回中央委員会を開催、2020春季生活闘争方針案を提起し、満場一致確認された。

冒頭あいさつに立った神津会長は、「全ての働く者が将来に不安なく明るい未来が描けるよう、まさに『分配構造の転換につながりうる賃上げ』をテーマに据えて今春闘を一致団結して取り組んでいこう！」と参加者に呼びかけるとともに。春闘を通じて、集团的労使関係の意義、有用性をさらに拡げていきたいとの強い決意が示された。

その後、神津会長からの挨拶に呼応する形で発言に立ったJR連合尾形事務局長は、『分配構造の転換』を図ろうという、今春闘方針で連合が示した力強いメッセージに共感の意を示すとともに、JR産業に内在する様々な分配構造の歪みを指摘、JR連合及び加盟各単組が抱える様々な歪みの是正に向けて果敢に取り組むことで、連合が掲げる『分配構造の転換』に繋げていく旨の決意が示された。

答弁に立った富田総合政策局長からは、「連合として不退転で臨むという決意で方針を提起した。社会には様々な分配構造の歪みが内在しており、春闘を通じてそれぞれに着目して明らかにし、積み上げていきたい」との連合の認識が述べられた。

JR産業においても様々な分配構造の歪みが存在している。労使間における歪み、企業規模間における歪み、企業内部における雇用形態間の歪み、そして地域間における歪みなど、数多くの歪みを内包している。JR連合及び加盟単組は、2020春闘を通じて様々な分配構造の歪みを顕在化し、その是正に向けて果敢に取り組んでいく。

